

2025年度 第3回 藤沢市立長後中学校 学校運営協議会

2025年10月15日(水) 10:00-

長後中学校 会議室

参加：小菅、櫻田、鈴木、関水、中嶋、松崎、山中、作道、安西、雲宮
教育総務課から2名見学
(敬称略)

次 第

1 会長あいさつ

- ・ 小学校の運動会で「長後音頭」が復活する。
- ・ 地域の視点で学校を緩やかに支えていきたい。

2 授業参観 合唱コンクール学年リハーサル

3 防災授業についての報告（安西）

ふじさわ防災ナビ Jr、防災地図、動画等を使って各学年指導をした。夏休みの課題として、自分の家から指定避難場所までの経路を辿るワークと、家から指定避難場所までの間で一旦避難できそうな場所を探すワークを設定。子ども目線での避難場所の確認ができ、家族で話し合う機会になった。生徒の回答は代表的なものを市民センターで保管している。

4 意見交換

<防災について>

- ・ 自分の所属している自治会を知らない子どももいるかもしれない、また、自治会に入っていない家庭もあるかもしれないが、一旦災害が起こったらそれとこれとは別で隣近所で助け合わなければならない。このような取組が大人に波及するとよい。
- ・ 高齢者ばかりの自治会もあることを知っておいてほしい。そういう自治会ではまさに中学生は即戦力になる。
- ・ 集団下校訓練もした方がよいと思う。自分の住んでいる地域にどんな先輩/後輩がいるのか、認識するよい機会になるのでは？
- ・ 高校では災害図上訓練（DIG研修）をする。これは中学生にも有効なのは？
- ・ 防災の取組は地域によって様々。藤沢も南部は津波を想定しての訓練が多いが、長後地区は大規模火災が起きることを想定している。
- ・ 総合防災訓練（11月）は昨年から自治会の安否確認を報告する形。夏に市民センターと自治会の防災担当者と長後中で、避難所開設訓練をしている。しかしそれぞれの避難所は住民の2割ほどしか収容できない。市は自宅での避難と備蓄を推奨している。
- ・ 中学校には市の防災備蓄倉庫がある。今年度、その中身の棚卸しが進んだ。避難の仕方や避難所運営、備蓄品について、これから市が具体的な方針を出していくのではないかと。
- ・ 避難所運営は実際には揉める。運営ゲームなどがあれば中学生が体験しておくのもよい。中学生は子どもだが意外と力を持っている。その力をうまく生かせるようになるとよい。このような防災授業を継続していき、将来的に自分たちで考える力をつけてほしい。
- ・ 防災講演会を聞いた経験から。子どもが家で一人にいるときに避難しなければならないような災害が起こったら、水や食料など一人分ずつがまとまっているとよい。家族の写真がスマホに入っている

と写真を見せながら安否を尋ねることができる。外で被災する場所があるので、安全な場所・危険な場所を知っておくとよい。



市民センター・地域・学校運営協議会が協働し、長後地区の防災について大規模でなくともよいので継続的な授業を積み重ねていきたい。

<その他>

- ・ 不登校であってもかかりつけ医で健康診断が無料で受けられるようにならないだろうか。その日に欠席すると家庭によっては一年間健康診断を受けないことになってしまうので。

5 連絡、その他

第4回 2月3日(火) 10:00- 兼：学校評価委員会